Super Cat
スーパーキャット

SVE-40

サンバイザー取付式コードレスレーダー探知機

SVE-40

取扱説明書　保証書

低消費電流のロングライフ設計

2電源方式 12V車専用

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。

⚠注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、15時間以上(例 1日3時間で5日間)充電しながらご使用ください。

コピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS0568

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	SVE-40
S/No.	

お買い上げ日		年　月　日
保証期間		本体部分 1年　機器本体消耗部品 6ヶ月　ご購入日(お買い上げ日)から1年
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL(　　)
販売店	店名 住所	上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お控ください。

無効

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取り付け・接続説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
   尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や車故障の付随的損害については、一切その責任を負いません。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内において、のみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ（症状をなるべく詳しくご記入ください。「故障内容」「取り付け車種・年式」）

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ずやってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⃠ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

⚠警告

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

シガープラグコード使用時

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグコード使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。特にシガープラグコードを接続している場合は、シガーライターソケットに常時電源が供給される車種があります。また、長期間ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコード使用時

シガープラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

電池について

専用電池以外は使用しない…内蔵の電池は本機専用です。安全のため専用電池以外は使用できません。

日頃から安全運転をお心がけください

このレーダー探知機は、取締りレーダー波の存在を前もってお知らせする受信機です。レーダー方式以外の赤外線や光電管式、ループコイル式などのスピード測定装置には反応しません。また、電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。(いつも鳴るから)と安心せずに注意してください。

※ 探知距離は、走行環境、測定条件などにより変わることがあります。

主な特長

1 iDSP※1
統合的デジタル信号処理技術(デジタル)により、超高精度識別を実現。
※1…Integrated Digital Signal Processing Technologyの略。
① 新Hシステム識別
通常波と区別して、音(電子音)＆光(アラームランプ/シグナルメーター)でお知らせ。
② ステルス識別
通常波と区別して、音(電子音)＆光(アラームランプ/シグナルメーター)でお知らせ。
③ GPS排除
カーナビのモレ電波を識別し、誤警報を排除。さらに温度変化などによる周波数ズレを自動補正。[特許 第3044004号]

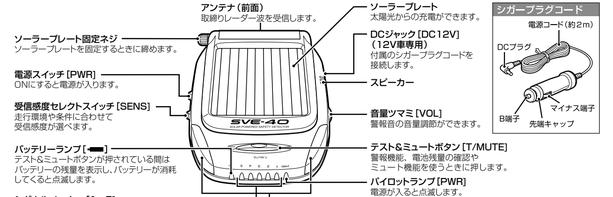
2 ULTRA/ウルトラ感度
高速道路などの走行に適したウルトラ感度。
Wスーパーテロダイン…スイープオシレーター式超高精度受信方式。[特許 第1720227号]
X・Kツインバンド…Xバンド/Kバンドの2バンド対応。
後方受信…後方からのレーダー波も確実にキャッチ。

3 アラーム機能
① 電子音アラーム…新HシステムもステルスモードでもOK。通常波と区別してニアミスアラームで警報。
② Wアラーム方式…音(電子音)＆光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報。
③ 接近テンポアップシステム…取締り機に近づくに従い、電子音がテンポアップ。
④ ミュートボタン…受信を確認後はワンタッチで警報音をカット。

4 自動制御
① オートディマー…ランプ点灯から、約30秒で自動的にライトダウン。
② オートクロイアット…アラームの鳴り始めから、約30秒で自動的にボリュームダウン。
③ オートパワーOFF…駐車後、電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源OFF。
④ ローバッテリーアラーム…バッテリーの充電が必要になると、音＆光のダブルでお知らせ。

5 その他
- ロングライフ 70時間[特許 第2075785号]
- ソーラー充電方式
- 脱着式ニッケル水素電池
- バッテリー残量表示
- 12V車専用
- 2電源方式：ソーラー＆シガー
- 取付：サンバイザー/フロントガラス/ダッシュボード

各部の名称と働き



ご使用にあたって

まず最初に充電します
初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、15時間以上（例 1日3時間で5日間）充電しながらご使用ください。

使用上のご注意

■一部の車種に採用されている断熱ガラスは、電波の透過率が低いため、探知距離が短くなることがあります。
■本機のDCジャックの入力電圧は、12V専用です。24V車(バス、大型トラックなど)での使用はできません。

動作温度範囲について

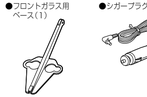
■本機は、－10℃～＋85℃まで正常な動作が保証されています。夏、冬とも安心してご使用ください（充電可能温度範囲は、－5℃～＋85℃です。厳寒地でご使用になる場合は、付属のシガープラグコードでご使用ください）

付属品

■ご使用前に付属品をお確かめください。

●サンバイザークリップ(1)　●ダッシュボード用ブラケット(1)

●フロントガラス用ベース(1)　●シガープラグコード(1)　●吸着盤(2)　●マジックテープ(1)　●クッションカバー(1)　●取扱説明書・保証書(1)



別売品のお知らせ

● 電源直結コードOP-4　1,500円(税別)
シガーライターソケットを使わずに、アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。(コード約4m)
● 交換用ニッケル水素電池　1,500円(税別)

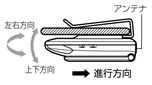
- 本機は専用のニッケル水素電池を内蔵しています。内蔵の電池は本機専用で、他の機器に使用することはできません。また安全のため専用の電池以外は本機に使用できません。電池を交換する場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- 本機を取り付けてのスピード違反に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

サンバイザーに取り付ける

1 サンバイザーに取り付ける
付属のサンバイザークリップを、本体底面の穴にしっかり取り付け、助手席側のサンバイザーに挟み込む

※ フロントガラスがスモークやサンシェード付きで、太陽光が充分に当たらない場合は、ダッシュボードへの取り付けをおすすめします。

2 取り付け角度を調整する
道路に対して水平に、また、アンテナが進行方向を向くようにします。



3 ソーラープレートの角度を調節する

ソーラープレート固定ネジをゆるめて、太陽光がよく当たるような角度に調節し、しっかりネジを締めてください。

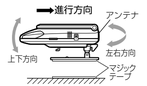
⚠注意

ソーラープレートの角度を調節するときは、必ずソーラープレート固定ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

ダッシュボードに取り付ける

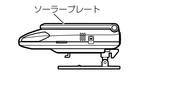
1 付属のダッシュボード用ブラケットを本体に取り付ける

2 付属のマジックテープでダッシュボードに貼り付ける



- あらかじめ貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落とした後、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

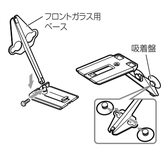
3 取り付け角度を調節する
道路に対して水平に、また、アンテナが進行方向を向くようにします。



- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。
- ソーラープレート固定ネジがゆるんでいるときは、しっかり締めてください。

フロントガラスに取り付ける

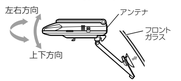
1 フロントガラス用ベースを取り付ける
ブラケットからダッシュボード用ベースを取り外し、フロントガラス用ベースを取り付け、吸着盤を取り付ける



2 ブラケットを本体に取り付ける

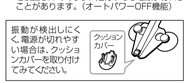
ブラケットを取り外すときは、ブラケットの下のツメを軽く押し下げてください。

3 フロントガラスに貼り付ける
吸着盤にボルダを付けてフロントガラス下部に貼り付け、アンテナが進行方向（前方）を向くように角度を調整します。



アンテナの前に他の機器のアンテナや金属、ゴムなどの障害物がこないように取り付けます。
※ 洞由のきつい部分へは取り付けないでください。取り付けが安定しないばかりでなく、振動を検出しにくくなり、走行中でも電源がけれることがあります。(オートパワーOFF機能)

振動が検出しにくく、電源がけれやすい場合は、クッションカバーを取り付けてみてください。



電源について

■ソーラーバッテリーの充電と使用方法

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、ソーラープレートによる太陽光からの充電ができます。
初めてご使用になるときは、付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。（走行中、駐車中にも太陽光から充電されますが、気象条件、使用環境に左右されない、より確実な初期充電を行うことができます）

シガープラグコードで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間（例 1日3時間で5日間）でフル充電できます。
電源スイッチのON/OFFに関係なく充電できます。

1度充電したあとは、バッテリーランプが点滅を始めるまで、シガープラグを抜いて、そのままお使いください。
※初期充電を充分に行えば、使用中のバッテリーの消費分は、走行中や駐車中に太陽光からの充電で補充されます。

フル充電したあとは、まったく充電されない状態でも約70時間*（無鶏報時）の連続使用ができます。
※連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。

内部のバッテリーには寿命があります。充電が充分できなくなったら、新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが、約3～5年を目安にしてください）
交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部に相談ください。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくくなる場合があります。バッテリーアラーム機能がひんぱんに働くときは、シガープラグコードを接続した状態での使用をお勧めします。

電池交換の方法

内部のバッテリーには寿命があります。充電が充分できなくなったら、新しいものと交換してください。（使用状況にもよりますが、約3年～5年を目安にしてください）

- 本機は専用のニッケル水素電池を使用しています。安全のため専用電池以外は使用しないでください。新しいバッテリーについては、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所、サービス部にご相談ください。

■オートパワーOFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態（停車中）や、エンジンを切ったときなど振動のない状態（駐車中）が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。（その後、振動を検出すると電源が入ります）
※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。使用しないときは電源スイッチで電源をオフしてください。
※ 走行中でも、停車や低速運転などで、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、ローバッテリーアラーム（ピピッ…ピピッ…）が鳴り出します。このようなときは充電が必要です。付属のシガープラグコードを使い、充電しながらご使用ください。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態	赤色点滅
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態（探知機能は動作しなくなります）	赤色点滅（ピピッ ピピッ ピピッ）

ローバッテリーアラームが鳴ります（約1分間）

■バッテリーの残量表示について

テスト＆ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態	赤色点灯

- シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
- 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
- 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

シガーライターソケットからの充電と使用方法

付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

⚠ 警告

助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 本機はDC12V（マイナスアース）車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、バッテリーアラームが鳴った状態からは、約15時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。
- 本機をバッテリーなどと直接接続すると破損の原因となります。絶対におやめください。

音量／受信感度を設定する

※設定は必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

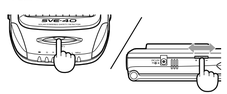
1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。

確認音（ピピッピロリ…）が数秒間鳴り、パイロットランプが点滅します。
※ 節電のため、パイロットランプは点滅で動作します。

2 音量を調節する

テスト＆ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

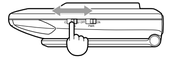


押している間はテストモードとなり、警報音が鳴り続けます。

※テスト＆ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、テスト機能が働き、警報音が止まります。

3 受信感度を選ぶ

受信感度セレクトスイッチで切り換えます。



ウルトラ感度モードとカットダウンモードの切り換えができます。

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほどの電波も受信しやすくなります。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新HシステムなどGPSの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え

受信感度		走行環境や条件
高い ↑	ウルトラ感度モード	郊外や高速道路
低い ↓	カットダウンモード	市街地

iDSPについて

本機はiDSP／統合的デジタル信号処理技術（integrated Digital Signal Processing Technology）により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新HシステムのP種類の異なる電波に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常の警報音とは違うニアミスアラーム（ピロリピロリピロリ…）でお知らせします。**【ステルス識別／【新HシステムP識別】**

またカーナビからのGPSのモレ電波などの妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。**【GPS排除：特許 第3044004号】**

※ iDSPを解除することはできません。
※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

ステルス型取締り機について

ステルス型取締り機は他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないように工夫され、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して、速度の測定ができる狙い撃ちの取締り機です。従来機では、先頭を走行せずに2番手以降で走行していても、一瞬しか警報されません。

取締り機（電波の種類）	シグナルメーター	警報音
通常の取締り機（常時発射されている連続波）	左から右に点灯数が増えます。	警報音が鳴ります。電子音は断続音から連続音に変化します。
ステルス型取締り機（必要なときのみ、短時間発射される狙い撃ちの連続波）	いきなり4つ以上点灯します。	ニアミスアラーム（ピロリピロリピロリピロリ…）が鳴ります。
新HシステムS＜新型ポイセービス＞（常時発射されている、種類の異なる電波）	段階的に点灯数が増え、3つ以上で新HシステムS識別されます。	警報音で鳴らはじめ、新HシステムS識別するとニアミスアラームが鳴ります。

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機（オービス）の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波（周波数は同一）を使用しているため、従来機では探知（受信）しにくくなります。ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しなくなりという、相反する問題が発生しました。
本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。**【自動識別&排除設定機能】**

さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。**【自動補正機能】【特許 第3044004号】**

※カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新HシステムSテルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。
※自動ドアなど、常に電波の出ている場所で運転中エンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

警報機能について

Wアラーム方式

音（電子音）と光（アラームランプ/シグナルメーター）のダブルで警報します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い ← → 近い	電子音アラーム	断続音から連続的に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。	シグナルメーター	左から右へ点滅数が増し、右端へ達したときに、すべてが点滅します。 1 2 3 4 5

● 警報が続くと、警報音がリ小さくなり、ランプ類も暗くなります。（オートクワイアット/ディマー機能）

接近デンボップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近に応じて変化します。

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

警報音が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプやシグナルメーターなどのランプ類も暗くなります。

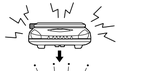
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびウルトラ感度の高感度受信により、後方からの取締りレーダー波をシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト＆ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。



ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。

受信しにくい場合

電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

●前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

●対象の車が近くに来ると、電波を発射しない狙い撃ちが出る取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。「いつも鳴るから」と安心せずに注意してください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. 追走して測定する方法（追尾方式）
指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。
※本機は後方受信しません。この追尾方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

2. 距離と時間で算出する方法（光電管式、ループコイル式）
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や埋め込み磁気スイッチなどが使われています。
※これらの方式は電波を出しておりませんので、受信および警報することはできません。

3. 電波を使って算出する方法（レーダー式）
電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を測ります。
現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。
この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流となると思われます。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

● **定置式**
人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が狭いほど、探知しやすくなります。

● **移動式**
測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

● **自動速度取締り機（オービスIII）**
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

本機はレーダー方式のスピード測定装置に対応します。
※探知距離は、走行環境、測定条件などによって変わることがあります。

K/バンドについて
K/バンドは、米国でまだ使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも採用される可能性があります。
本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、K/バンドも受信できるX・K・ツインバンド対応です。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症状	チェック項目
電源が入らない	● 電源スイッチがONになっていますか。 ● バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 ● オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	● 太陽光を充分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 ● シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
反応（警報）しない	● 電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 ● 警報機能がO.F.F.に働きますか。テスト＆ミュートボタンを押して確認してください。 ● オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。 ● 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。（とくにオービスIIIではよくあります） ● 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	● ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 ● 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 〈取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器〉 ・電波式の自動ドア、防犯センサー ・信号機の近くに設置されている車輌通過計測機 ・NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 ・気象用レーダー、航空レーダーの一部 ・他のレーダー探知機の一部 ・まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	● 警報が続くと、バッテリーの消耗を抑えるために、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。（オートクワイアット/ディマー機能）
カーナビゲーションの影響を排除できない	● 自動ドアなどの常に電波の出ている場所で電源スイッチをONにした場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ていない場所へ移動して、もう1度本機の電源スイッチを入れ直してください。

仕様

電源電圧：DC3.6V（ニッケル水素電池1.2V×3）
DC12V（シガープラグ入力電圧）
消費電流：待機時　3mA以下/
最大　60mA以下
受信方式：スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式

受信周波数　：K/バンド、K/バンド
動作温度範囲：－10℃～＋85℃
（充電可能温度範囲：－5℃～＋85℃）
本体外形寸法：70(W)×24(H)×101(D)mm
（突起部含まず）
本体重量　：129g（電池含む）

※製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

*1. **保証書（本取扱説明書に付けています）***
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

*2. **保証期間***
お買い上げの日から1年間です。

*3. **対象部分***
機器本体（消耗部品を除く）

*4. **修理をご依頼されるとき***
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名（車種）、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。
● **保証期間中のとき**
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで保証書とともに、機器本体とシガープラグコードをご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。
● **保証期間が過ぎているとき**
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

*5. **アフターサービス等についてご不明の点は***
お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご相談ください。
ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9：00～17：30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

●ユピテルご相談窓口一覧

お客様ご相談センター　**TEL. (0564)45-5599**

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　**TEL. (011)618-7071** 〒060-0008 北海道札幌市中区北八条西18丁目35-100 エアリービルIF
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　**TEL. (022)284-2501** 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2鶴和ビルIF
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　**TEL. (03)3769-2525** 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新太ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井	名古屋営業所・サービス部　**TEL. (052)461-1281** 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　**TEL. (06)6386-2555** 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　**TEL. (082)230-1711** 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　**TEL. (092)552-5351** 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

● 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
● 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。